

# 年報

社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫

〒538-0042 大阪市鶴見区今津中 2-4-37

TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

<http://www.lighthouse.or.jp/>



## 平成27年度 事業報告 (2015年度)

### ◎概 括

平成27年度は、法人の「基本理念」「職員倫理綱領」「職員行動規範」に基づき、職員が一丸となって心のこもったサービスを提供することに努めました。財政状況が厳しい中、高額な遺贈金を受領、施設の修繕・設備更新に備えて積み立てました。また、情報部門指定の寄附金2件を受領、「点字たねまき事業」「音声訳充実事業」として英語点字縮約辞典、児童向けのなぞなぞ・迷路の点字図書、点字情報月刊誌などを発行したほか、点字プリンタの整備費用として一部を充当、次年度以降の事業用として一部を積み立てました。

視覚障害リハビリテーションセンターでは、事業全体を再編し、重度・重複の方々を対象とした施設入所支援をともなう生活介護の定員が充足、支援にあたる職員の介助技術の向上を図り、施設生活の満足度が上がるように努めました。平成27年4月から新たに受託した大阪市の委託による「鶴見区障がい者相談支援センター」は、視覚障害にとどまらず、さまざまな障害がある方々の地域生活を支援する役割を法人が果たしてゆくものです。

情報文化センターでは、国連障害者権利条約の公布、障害者差別解消法の施行の流れを受け、情報バリアフリーの推進をめざし、関係機関等に対して点字・録音・電子書籍・音声解説等の公的保障の充実を積極的に働きかけました。また、文部科学省の委託による視覚的資料の「音訳教材」データベ

ス構築事業が2年目を迎えたほか、新たに三菱財団より研究費の助成を得て、27年10月から1年間で「視覚障害者が自立的に利用できる音声説明付き三次元地形模型の開発」に着手しました。引き続き、高度な製版技術を駆使して、教科用図書・点字印刷などを安定的に供給したほか、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」サポートセンターの業務を引き続き受託しました。

### ◎法人事業の概要

#### —岩橋武夫賞の授与—

アジアにおける視覚障害者福祉・教育等の貢献者に授与される岩橋武夫賞の2015年受賞者は、発展途上国の若い視覚障害留学生を長年にわたって支援している社会福祉法人国際視覚障害者援護協会(石渡博明理事長)に決定。3月26日に行われた修了式の席上、贈呈しました。

#### —第23回ライトハウス祭り—

11月7日(土)、恒例のライトハウス祭りを鶴見事業所で開催、400名を超える地域の方々が参加され、交流を深めました。

#### —チャリティ事業—

第33回チャリティコンサートは、例年どおり大阪城東ロータリークラブの協賛により、4月12日(日)、ヴァイオリン:和波孝禧氏、指揮:澤和樹氏、演奏:千里フィルハーモニア・大阪により、ザ・シンフォニーホールにおいて開催、1,081名の方々が来場されました。当日の会場募金およびチケット売上げによる収益の一部は、盲導犬育成支

援に充当いたしました。

#### —研修・交流・広報事業ほか—

- ・3月14日～18日には、シロアム福祉会から3名が訪日し、施設等を見学されました。
  - ・日本ライトハウス後援会「灯友会」(桂晴子会長)は、引き続き、バザールやクリスマスコンサートなどのイベント、募金箱の設置協力、年2回の街頭募金などにより、盲導犬育成にご支援くださっています。
  - ・新聞や放送・出版関係、大学の調査研究や博物館の特別展示、企業の社史編纂などにも法人が所蔵している文献や写真などの資料を提供したほか、番組の取材も受けました。
  - ・引き続き、日本盲人福祉委員会、日本盲人社会福祉施設協議会等の関係団体の役員として法人職員が就任し、協力を行いました。
  - ・引き続き、大阪市・大阪府の公立小学校を中心に、幼稚園から高等学校までの要請に基づいて講師を派遣し、盲導犬啓発活動を行いました。また、企業や公共交通機関等の社員研修で手引きの方法等の実習を担当したほか、視覚障害関係機関からの要請に応じ、ガイドヘルパー養成研修等に講師を派遣しました。
  - ・例年どおり、職員人権啓発研修会を2回実施したほか、職員全体会、役職者の業務研修等を行いました。
- ◀募金事業に関しては、別冊の『FORWARD』をご覧ください▶

## ◎さまざまなサービスの展開

障害者支援施設日本ライトハウスきらきらでは、施設入所支援をとまなう生活介護の事業が定員を満ち、職員一丸となって一層のサービスの向上に取り組んでいます。一方、機能訓練や就労移行支援の施設入所は、サービス等利用計画が必須となったために利用が減少しており、施設と事業所を併せ持つスケールメリットを活かし、施設や事業所の利用につながるよう、相談部門と支援部門の連携を一層深めることとし、体制を整えました。

また、大阪市「鶴見区障がい者相談支援センター」業務(3年間)を受託しました。これは、鶴見区内の基幹相談支援事業所として地域資源の連絡・調整を進め、障害に起因する困難さだけでなく、さまざまな生活課題を抱える人たちの支援を行い、地域生活を支える役割を果たすものです。

新たに、研究機関や企業と共同で高屈折率のルーペ「みてみ」を開発、販売を開始しました。

## ◎寄贈・助成等による機器整備

引き続き、気鋭のヴァイオリニスト・川島成道氏のご寄贈により最新の訓練用機器6台を整備したほか、日本財団のご助成により生産活動の材料・製品納入用のワゴン車、立川福祉基金のご助成によりエアロバイク2台を整備しました。また、イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」により洗濯機1台・掃除機1台を配備することができました。また、積立金の取崩しにより鶴見事業所では、高圧受電設備の更新工事、東西館2階の手すり設置工事を実施したほか、盲導犬訓練所の外壁塗装・事務所増設工事を実施しました。

### 1. 日本ライトハウスきらきら

日中活動サービスの内訳は、生活介護(当初11→年度末13名:登録11→13

名)、自立訓練(機能訓練)(20名:登録27名)、就労移行支援(6名:登録5名)、施設入所支援(30名:登録16名)で、進路の内訳は、復職・就職5名、支援学校等進学1名、わくわく利用8名、家庭復帰2名、他施設・事業所6名、その他1名でした。

きらきらの修了後、居宅支援サービスや行政機関等との連携を深め、安定した居宅生活を開始できるよう、幅広い支援を行いました。

### 2. 日本ライトハウスわくわく

引き続き、障害者自立支援法に基づく事業所として、創作活動・生産活動・各種技術訓練(歩行・点字・情報機器・日常)、スポーツ・レクリエーション活動を四つの柱とする期限の定めのない生活介護サービスを提供しました。年度当初の登録は104名、きらきら修了者の受入れや利用修了等差引きで、年度末の登録者数は101名、年間の平均利用者数は37.7名、稼働率は94.3%でした。

JR放駒駅と施設との送迎サービスを引き続き行いました。

### 3. 職業訓練部

13名の在籍者に職業訓練プログラムを提供し、10名が修了・中退(就職5名、求職中3名、視覚支援学校進学1名、本人死亡1名)しました。引き続き、就職した修了者の体験を聞く会を開催したほか、就労移行支援利用者の支援、大阪市短期委託訓練等も実施しました。

### 4. 盲導犬訓練部

パピーウォーカー宅へ68頭の飼育委託を行いました。アジア各国の盲導犬協会との間で繁殖に関する協力を進めているほか、訓練士の訓練技術のレベルアップに取り組んでいます。

(盲導犬貸与 21名 19頭)

### 5. 盲人ホーム(理療実技指導部門)

引き続き理療免許を所持する利用者の技術向上と総合的な資質向上に力を入れて取り組んでいます。

(利用者4名、継続3名)

### 6. 居宅支援センターてくてく

障害者総合支援法の「居宅介護・重度訪問介護」、「移動支援」、「同行援護」、「一般相談支援」、「特定相談支援」の各事業(利用登録延べ99名)、介護保険法の「居宅介護支援」、「訪問介護・介護予防訪問介護」の各事業(利用登録延べ24名)を実施しました。登録ヘルパー:47名。相談支援センター受付:42件。

### 7. 養成部(指導者養成部門)

○厚生労働省委託 第45期視覚障害生活訓練等指導者養成課程

1年基礎Ⅰ 16名、1年基礎Ⅱ 3名

2年実習 1名、2年応用 2名

○日本眼科医会共催

医療関係者視障りハ研修会 14名

○文部科学省・全国盲学校長会後援

教育関係者視障りハ研修会 7名

○日本盲人社会福祉施設協議会后援

視障りハ基礎講習会(2回) 40名

○在宅訪問指導:奈良県:96回、和歌山県:224回、宝塚市:132回

### 8. 相談室

電話相談:194件、来所相談:77件

### 9. その他事業

・修了された方々に『ライトハウス通信』を点字・大活字・メール版により1回発行しました。

・広報誌『ぴっかぴか』を2回発行、地域の福祉・医療・各種相談支援団体等にお配りしました。

・登録ボランティアは、134名にのぼり、延べ621件の活動にご協力いただいたほか、企業ボランティアの方々からもご奉仕いただきました。感謝申しあげます。『ボランティアだより』を2回発行しました。

・学校や国内外の関係機関等からの依頼により、引き続き研修生・実習生を多数受け入れたほか、講習会等に職員を講師として派遣しました。

◎サービスの拡充をめざして

国連障害者権利条約による公的な情報保障、障害者差別解消法による合理的配慮の義務化の流れのなか、西・東・早川福祉会館点字図書室の3事業所が密接に連携・協力し、全国で10万名(推計)を超える視覚に障害のある方や、読書に困難のある方などの必要と希望に応え、“学び、働き、暮らし、楽しむ”ことに役立つ情報を多様な媒体で製作・提供しました。また、ICT(情報通信技術)とインターネット、視覚補助具の普及を推進したほか、文化・コミュニケーションを広げる活動を展開しました。

とくに今年度は、ご寄附を元に、点字の普及を図る「点字たねまき事業」と、専門音訳技術の発展と電子書籍との融合をめざした「HyMe(ハイミー・Hybrid Media)事業」に着手し、全国に及ぶ成果を上げることができました。

引き続き、東事業所を中心とした点字・デジター等出版事業の維持・発展に努めました。早川福祉会館点字図書室の運營業務受託は、1年の特命契約を再度締結、デジター図書の一層の浸透を図りました。

1. 点字・録音図書の製作・受入

(単位：タイトル数)

種別	点字図書	録音図書
製作図書	345	204
委託配布図書	18	59
寄託・その他	11	165
購入図書	5	4
蔵書累計	9,631	16,455
(冊/巻数)	37,055	33,890

2. 図書館サービスの利用状況

(1) 図書館利用者数

大阪市：1,851名 大阪府：1,645名  
他府県：1,250名 合計：4,746名

(2) サービス利用の状況

[貸出サービス] 点字図書 10,759冊、  
テープ図書 7,415巻(図書 6,767、

雑誌 648)、デジター図書 69,488枚  
(図書 59,916、雑誌 9,572)

[対面リーディング] 776件 1,552時間  
[プライベート製作] 点字 117件、音  
声 71件、テキストデータ 33件

3. 機器・用具サービス

引き続き、用具・機器展示・販売、パソコン指導などを行ったほか、訪問利用支援サービスも実施しました。サービスフロア来室：5,246名、問合せ：3,116件、訪問支援：5件、個人講習：504件。

4. ネットワーク利用支援サービス

視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」のサービスを引き続き受託し、全国の個人会員や施設会員に対して、インターネットによる図書情報等の利用の普及に努めました。年度末登録数：個人会員14,380名、施設会員312団体。

5. 多多数複製点字製作提供事業

(1) 支援学校等向け点字教科用図書製作

視覚障害児童・生徒・学生向けの教材の点字データを製作し、小学部15点33巻、中学部9点41巻、高等部普通科26点174巻、理療科19点76巻の教科用図書を点字・拡大・デジター版で発行、新たに高等部普通科英語副読本として、統一英語点字関連図書を発行しました。

(2) 厚生労働省委託図書貸出配布事業

点字製版 21タイトル・2,920冊、CD製作 8タイトル・2,920枚、デジター 31タイトル・2,046枚、マルチメディアデジター 8タイトル・528枚

(3) メディア製作センター事業

国立国会図書館による「学術文献録音図書製作作業」を引き続き受託、また、音声だけで映画を楽しむことができる「シネマ・デジター」製作、テレビ番組の音声解説付与などの事業を発展させるとともに、視覚的資料の音訳技術を体系化し、マルチメディアデジター図書の製作技術を融合したHyMe(ハイブリッドメディア)事業に着手しました。

(4) 各種委託製作他

大阪市・和歌山市等、自治体発行の点字版広報誌の製作を受託しました。また、行政・教育機関等からの依頼による点字印刷・点訳物・点字サイン(プレート類)等を製作・配布しました。

(5) 教材等個別製作

教育委員会や学校の依頼に応えた教材や試験の点訳・墨字訳を受託しました。小学校：7校37件、中学校：4校18件、大学：6校108件、自治体等：23団体52件。

6. 国際協力事業

広げよう愛の輸運動基金のダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業に引き続き協力し、モンゴルとソロモン諸島の視覚障害青年2名の研修を行いました。

7. ボランティア・広報事業ほか

西事業所登録ボランティア：540名。  
点訳等の講習会を開催したほか、各種講習会等にも講師を派遣しました。

毎月の施設見学会等で31名の方、グループ・団体の個別見学では、25団体、336名の方に施設をご案内しました。

8. 各種情報の提供

視覚障害者情報誌『読書』を年11回、ボランティア向け情報誌『ONE BOOK ONE LIFE』を年11回、専門情報誌『対面リーディング通信』を年6回、『らくおん通信』を年6回、『点訳通信』を年4回、それぞれ発行しました。

9. 早川福祉会館点字図書室

利用登録数：1,056名 ボランティア登録数：358名(音訳197名、点訳161名)

(1) 製作・貸出実績(単位：タイトル数)

種別	製作	貸出
デジター図書	112	50,067
テープ図書	91	3,464
点訳	125	1,880
点字打出し	—	1,898

(2) その他サービス実績

プライベートサービス	760件
対面読書サービス	129件